

# 臨床工学技士とは何

---

当院の臨床工学科では11名の臨床工学技士、(以下「ME」)が常勤し業務に当たっております。ここで「MEって、どんな仕事をしているの?」と思った方も数多くいらっしゃると思います。MEは1987年に国家資格として臨床工学技士法が制定され医療職種としては比較的新しい分野ですが、医療職種の中で初めて工学を標榜した国家資格であり、医療技術の進歩に伴い医療機器を扱うMEの業務は日々拡大されている現状に対し、看護師など他の医療職種と比べると患者さんと接する機会が少なく、認知されにくい職種であります。

近年の高度最先端医療は、臨床工学の発展に伴い、より精密に、より複雑に進化し、これら医療機器の操作、管理には医学的な知識のみならず工学的な知識と技術をもつ専門の技術者が必要となりMEが誕生しました。

ここでは黒子役であるMEの当院での活動内容を紹介したいと思います。

## ■ 心臓カテーテル業務

---

心血管造影検査や治療を行う業務。

血行動態検査、血管内超音波検査、補助循環装置、体外式ペースメーカーを操作・保守管理をしています。

## ■ 血液浄化業務

---

透析装置14台で外来透析、急性期入院透析を行っています。

血漿(けっしょう)交換療法・血漿吸着療法など特殊血液浄化療法すべてに対応しています。

## ■ 高気圧酸素業務

---

第1種高気圧酸素装置を1台設置。

一酸化炭素中毒・腸閉塞・突発性難聴・ガス壊疽(えそ)などの治療をしています。

## ■ ペースメーカー関連業務

---

体内式ペースメーカー デバイス管理と外来業務。

遠隔モニタリングでデバイスの状況を管理、植え込み患者さんの手術立ち会い、MRI撮影の立ち会いをしています。

## ■ 人工呼吸器関連業務

---

人工呼吸器の操作・保守および管理する業務。

RSTチームの一員として呼吸療法ケアに参加しています。

## ■ 手術室業務

---

ナビゲーションシステム、自己血返血装置、内視鏡システムのセッティング業務、フットポンプの管理のほか、さまざまな機器のトラブル対応を行っています。当院では、手術室に専従MEを2名配置する傍ら、基本的に、1人で呼吸、循環、代謝業務が賄えるようゼネラリストとして、業務に携わり、待機体制をしいています。

また、他の施設と比べ、周産期を特色とする病院であり、GCU(回復期治療室)、NICU(新生児集中治療室)の小児病棟への介入を行い、呼吸器のラウンドをはじめ、クベース、アイノフ

ロー等の保守、管理を担っています。

いかがでしたでしょうか？ 現在の医療において医療機器は欠かせないものとなり、重要な役割をもっています。機器の管理及び使用方法によっては重大な事故を引き起こす可能性もあるため、点検・修理等の管理や、使用する医療従事者への教育・サポートも重要な業務と考えます。

直接患者さんへ関わる業務が少ない部署ではありますが、機器を通じてチーム医療に貢献し、質の高い医療を提供できるよう努めています。

【臨床工学科長 渋澤 正三】

